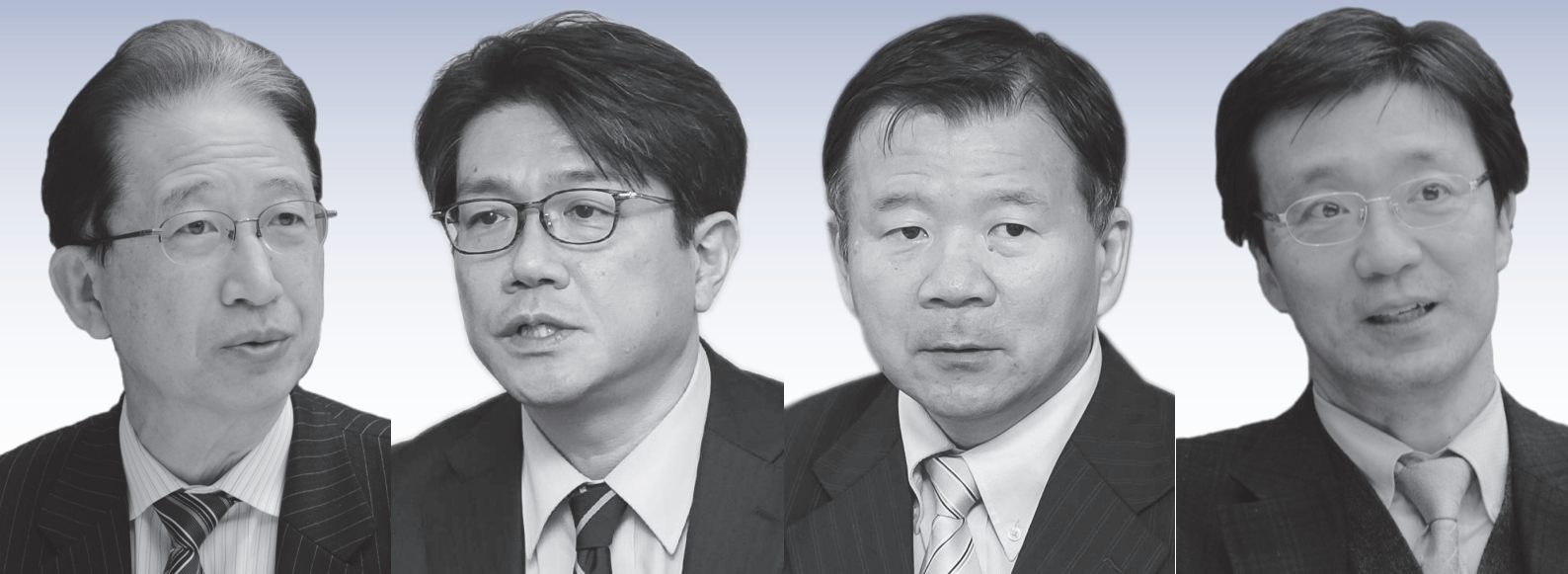


## 座談会



# Round Table Discussion mHNPCへのnew voyage

司会

**植村 天受**

近畿大学医学部  
泌尿器科学教授

出席者(発言順)

**鈴木 啓悦**

東邦大学医療センター佐倉病院  
泌尿器科教授

**上村 博司**

横浜市立大学附属市民総合医療  
センター泌尿器・腎移植科教授

**鈴木 和浩**

群馬大学大学院医学系研究科  
泌尿器科学教授

現在、ホルモン療法未治療の転移性前立腺癌(mHNPC)に対する新規ホルモン療法薬(ARAT)として、アビラテロン、エンザルタミド、アパルタミドが臨床使用されている。また、現在mHNPCにおいて化学療法薬のドセタキセルの臨床研究が進行中で、今後のさらなる広がりも期待されている。そこで今回は、本誌編集委員の先生方にお集まりいただき、アビラテロンおよびエンザルタミド、アパルタミドに関する臨床試験の話題を中心に、mHNPCに対する薬物療法の現状と将来展望についてご討議いただいた。

SAMPLE

ESPOIR –new voyage of prostate cancer– Vol.4 No.1 | (07) 07

Copyright(c) Medical Review Co.,Ltd.